

平成19年度在院患者調査 区分表 0730版

区分表

【病院保存欄】

氏名、生年月日等、生活保護の有無、地域移行調査区分については、病院保存用の欄です。大阪府調査回答時にはこの欄の部分は提出しないでください。

【患者番号】

患者毎に連番号を付して記入ください。

【年齢区分(Ⅰ)】

平成19年6月30日現在の満年齢を次の表を参考に記入ください。(6月30日までに誕生日を迎えられた方は表のままの数字、まだの方はこの表の数字から1を引いた数が満年齢。)

年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢
明 36(1903)	104	大 12(1923)	84	昭 18(1943)	64	昭 38(1963)	44	昭 58(1983)	24
37(1904)	103	13(1924)	83	19(1944)	63	39(1964)	43	59(1984)	23
38(1905)	102	14(1925)	82	20(1945)	62	40(1965)	42	60(1985)	22
39(1906)	101	昭 1(1926)	81	21(1946)	61	41(1966)	41	61(1986)	21
40(1907)	100	2(1927)	80	22(1947)	60	42(1967)	40	62(1987)	20
41(1908)	99	3(1928)	79	23(1948)	59	43(1968)	39	63(1988)	19
42(1909)	98	4(1929)	78	24(1949)	58	44(1969)	38	平 1(1989)	18
43(1910)	97	5(1930)	77	25(1950)	57	45(1970)	37	2(1990)	17
44(1911)	96	6(1931)	76	26(1951)	56	46(1971)	36	3(1991)	16
大 1(1912)	95	7(1932)	75	27(1952)	55	47(1972)	35	4(1992)	15
2(1913)	94	8(1933)	74	28(1953)	54	48(1973)	34	5(1993)	14
3(1914)	93	9(1934)	73	29(1954)	53	49(1974)	33	6(1994)	13
4(1915)	92	10(1935)	72	30(1955)	52	50(1975)	32	7(1995)	12
5(1916)	91	11(1936)	71	31(1956)	51	51(1976)	31	8(1996)	11
6(1917)	90	12(1937)	70	32(1957)	50	52(1977)	30	9(1997)	10
7(1918)	89	13(1938)	69	33(1958)	49	53(1978)	29	10(1998)	9
8(1919)	88	14(1939)	68	34(1959)	48	54(1979)	28	11(1999)	8
9(1920)	87	15(1940)	67	35(1960)	47	55(1980)	27	12(2000)	7
10(1921)	86	16(1941)	66	36(1961)	46	56(1981)	26	13(2001)	6
11(1922)	85	17(1942)	65	37(1962)	45	57(1982)	25	14(2002)	5

【入院形態区分(Ⅱ)】

入院形態を次の区分による記号で記入ください。

入院形態区分	記号
措置入院・緊急措置入院	1
医療保護入院	2
任意入院	3
応急入院	4

平成19年度在院患者調査 区分表 0730版

その他

5

【疾患名区分(Ⅲ)】

疾患名を次の区分による記号で記入ください。

(第10回修正国際疾病、傷害及び死因統計分類(ICD-10)によるものとする。)

疾患名区分	記号
症状性を含む器質性精神障害(F0)	0
精神作用物質使用による精神及び行動の障害(F1)	1
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害(F2)	2
気分(感情)障害(F3)	3
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害(F4)	4
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群(F5)	5
成人の人格及び行動の障害(F6)	6
知的障害(F7)	7
心理的発達障害(F8)	8
小児期及び青年期の通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害(F9)	9
てんかん(症状性を含む器質性障害(F0)に属さないもの)	10
その他	11

平成19年度在院患者調査 区分表 0730版

【最終入院日 区分(Ⅳ)】

在院期間を次の区分による
記号で記入ください。

在院期間区分	記号
1ヶ月未満	1
1ヶ月～3ヶ月	2
3ヶ月～6ヶ月	3
6ヶ月～1年	4
1年～1年6ヶ月	5
1年6ヶ月～2年	6
2年～3年	7
3年～4年	8
4年～5年	9
5年～6年	10
6年～7年	11
7年～8年	12
8年～10年	13
10年～20年	14
20年以上	15

【入院時の住所地区分(Ⅴ)】

入院時の住所地(現在地)を次の区分による記号で記入ください。

市町村名	記号	市町村名	記号
池田市	1	羽曳野市	23
箕面市	2	大阪狭山市	24
能勢町	3	富田林市	25
豊野町	4	太子町	26
豊中市	5	河南町	27
吹田市	6	千早赤阪村	28
摂津市	7	河内長野市	29
茨木市	8	堺市	30
高槻市	9	和泉市	31
島本町	10	泉大津市	32
枚方市	11	高石市	33
寝屋川市	12	忠岡町	34
交野市	13	岸和田市	35
守口市	14	貝塚市	36
門真市	15	熊取町	37
四條畷市	16	泉佐野市	38
大東市	17	田尻町	39
東大阪市	18	泉南市	40
八尾市	19	阪南市	41
柏原市	20	岬町	42
松原市	21	大阪市	43
藤井寺市	22	大阪府以外	44
		不明	45

【開放処遇区分(Ⅵ)】

単独にて院内外の外出が可能かどうかについて、次の区分による記号を記入ください。(入院中の病棟の開放状況ではない)

開放処遇区分	記号
閉鎖処遇	1
院内開放処遇	2
院外開放処遇	3

【社会復帰訓練区分(Ⅶ)】

社会復帰のために取り組んでおられる事項について、次の区分による記号を記入ください。

(重複記入可能)

社会復帰訓練区分	記号
作業療法	1
外泊訓練	2
デイケアへの体験通所	3
授産施設・障害福祉サービス事業所への体験通所	4
地域活動支援センターへの体験通所	5

平成19年度在院患者調査 区分表 0730版

福祉作業所への体験通所	6
協力企業への体験就労	7
特になし	8

【病状区分(VIII)】

病状について、次の区分・基準による記号を記入ください。(区分及び基準は、平成5年1月に社団法人日本精神病院協会が実施された在院患者調査を参考にしております。「基準」の各項目は各区分の代表的な特徴を示したものです。区分を決定するにあたって、当該基準の全項目を満たす必要はありません。アルコール症、中毒性疾患に関しては、身体合併症、管理上の問題を併せて総合的に判断してください。

病状区分	基 準	記号
寛解	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 寛解状態にあるが、家族の受け入れ困難や生活の場の困難などの社会的要因により退院できないもの ◇ 最小限の服薬は続けているが、社会生活上の支障は認められず、自立して生活出来ると予測されるもの 	1
院内寛解	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 院内の保護的環境においては、日常生活に問題はないが、一般社会においては不適応、症状増悪、再燃を起こしやすいもの ◇ 社会技能訓練等の包括的なりハビリテーション・プログラムにより、ある程度の自立性が期待できるもの 	2
軽度	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 日常生活機能が軽度障害されているもの ◇ 病状が安定しつつあるか、または病状固定し、院内の薬物療法、生活療法下では日常生活に問題はないが、社会適応させるためには強力な精神科リハビリテーションを必要とする 	3
中等度	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 残遺状態(無関心、無為等) ◇ 慢性の幻覚妄想状態など、症状遷延しているが、著しい問題行動はないもの ◇ 日常生活機能が中程度障害されているもの ◇ 中程度のうつ状態、そう状態 	4
重度	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 陽性症状、或いは認知症のため行動の乱れが著しいもの ◇ 問題行動を伴う精神症状があり、治療抵抗性のもの ◇ 精神症状のために日常生活機能が障害され、きわめて濃厚な看護及び介護を要するもの ◇ 自殺企図あるうつ状態、そう状態の極期 	5
最重度	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 重大な他害行為が予測され、嚴重かつ持続的な注意を要するもの ◇ 精神症状、人格水準の低下、認知症等により、著しい問題行動があり、たえず嚴重な注意を要するもの 	6

以下の区分は、「病状区分(VIII)」が1~2の患者についてご記入ください。

【退院阻害要因(IX)】退院を阻害している要因を次の区分による記号を記入してください。

(IX-1 本人をめぐる区分) * 重複記入可能

(IX-2 家族をめぐる区分) * 重複記入可能

本人をめぐる区分	記号
病状が不安定	1
病識がなく通院服薬の中断が予測される。	2
反社会的行動が予測される	3

家族をめぐる区分	記号
家族がいない、本人をサポートする機能が実質ない	1
家族から退院に反対がある	2
その他	3

平成19年度在院患者調査 区分表 0730版

退院意欲が乏しい	4
現実認識が乏しい	5
退院による環境変化への不安が強い	6
援助者との対人関係がもてない	7
家事(食事・洗濯・金銭管理など)ができない	8
その他	9
本人をめぐる退院阻害要因はない	10

家族をめぐる退院阻害要因はない	4
-----------------	---

IX-3 地域(施策)をめぐる区分 * 重複記入可能

地域(施策)をめぐる区分	記号
住まいの確保ができない	1
生活費の確保ができない	2
日常生活を支える制度がない	3
救急診療体制がない	4
退院に向けてサポートする人的資源が乏しい	5
退院後サポート・マネジメントする人的資源が乏しい	6
その他	7
地域(施策)をめぐる退院阻害要因はない	8

IX-4 その他の区分 * 重複回答可能

その他の区分	記号
住所地と入院先の距離があり支援体制をとりにくい	1
退院予定	2
その他の退院阻害要因はない	3

【退院促進支援事業等の必要性の有無(X)】

退院促進支援事業等*の事業が可能(必要)かどうか
 について次の区分による記号を記入ください。

退院促進支援事業等の必要性の有無	記号
可能(必要)	1
困難(不要)	2
判断できない	3
現在事業を利用中	4

* 退院促進支援事業等とは、次の3つをいう

- ① 自立支援促進会議等のマネジメントを受け、自立支援員が同伴して作業所等への外出を支援する退院促進支援事業
- ② 障害者ケアマネジメント従事者がケアマネジメントを実施するなどにより退院を支援する事業
- ③ 生活保護分野における退院推進員

平成19年度在院患者調査 区分表 0730版

ご協力ありがとうございました。

県個票1 市町村別・入院形態別在院患者数

医療機関名

(平成18年6月30日現在)

2次医療圏	市町村名	合計	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
松江	松江市					
	安来市					
	東出雲町					
雲南	雲南市					
	奥出雲町					
	飯南町					
出雲	出雲市					
	斐川町					
大田	大田市					
	川本町					
	美郷町					
	邑南町					
浜田	浜田市					
	江津市					
益田	益田市					
	津和野町					
	吉賀町					
隠岐	隠岐の島町					
	海士町					
	西ノ島町					
	知夫村					
県内計						
県外						
総計						

「その他の入院」
精神保健福祉法に基づ
く緊急入院、応急入院、
児童福祉法に基づく施
設への入院および医療
観察法による入院等に
ついて計上する。

県個票 2 外来診療・患者数の状況

医療機関名

		外来診察日の状況							外来患者の状況 平成18年6月1ヶ月間								
		月	火	水	木	金	土	日	(延人数) 外来患者数	(延人数 うち時間外)	(実人数) 外来患者数	自立支援医療 (精神通院) 公費負担	その他	再掲	計		
午前																	
午後																	
備考																	
																	(B)

(注) 「外来患者」については、第10回修正国際疾病、傷害及び死因統計分類 (ICD-10) のF分類 (精神及び行動の障害) 疾病のための通院治療を受けている方のみ計上してください。

- ・「外来診察日の状況」については、診察を行っている欄に○印を記載してください。
- ・曜日により隔週で診察を行っている場合などはその旨を備考欄に記載してください。
- ・「外来患者の状況」については、平成18年6月1ヶ月間の通院患者数とし、(A) = (B) となっていること。

県個票1 市町村別・入院形態別在院患者数

医療機関名

(平成18年6月30日現在)

2次医療圏	市町村名	合計	措置入院	医療保護入院	任意入院	その他の入院
松江	松江市					
	安来市					
	東出雲町					
雲南	雲南市					
	奥出雲町					
	飯南町					
出雲	出雲市					
	斐川町					
大田	大田市					
	川本町					
	美郷町					
	邑南町					
浜田	浜田市					
	江津市					
益田	益田市					
	津和野町					
	吉賀町					
隠岐	隠岐の島町					
	海士町					
	西ノ島町					
	知夫村					
県内計						
県外						
総計						

「その他の入院」
精神保健福祉法に基づく緊急入院、応急入院、児童福祉法に基づく施設への入院および医療観察法による入院等について計上する。

県個票 2 外来診療・患者数の状況

医療機関名

		外来診察日の状況							外来患者の状況 平成18年6月1ヶ月間					
		月	火	水	木	金	土	日	外来患者数 (延人数)	うち時間外 (延人数)	外来患者数 (実人数)	自立支援医療 (精神通院) 公費負担	その他	再掲
午前									人	人	人	人	人	人
午後									人	人	人	人	人	人
備考														(B)
														(A)
														(B)

(注) 「外来患者」については、第10回修正国際疾病、傷害及び死因統計分類 (ICD-10) のF分類 (精神及び行動の障害) 疾病のための通院治療を受けている方のみ計上してください。

- ・「外来診察日の状況」については、診察を行っている欄に○印を記載してください。
- ・曜日により隔週で診察を行っている場合などはその旨を備考欄に記載してください。
- ・「外来患者の状況」については、平成18年6月1ヶ月間の通院患者数とし、(A)≒(B)となっていること。

資料1 市町村別・男女別 在院・通院患者数調(平成19年6月30日現在)

医療機関名

	措置入院者数		医療保護入院者数		任意入院者数		その他の入院者数		入院小計		通院者数(自立支援医療)		通院者数(その他)		通院小計		合計		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
大分市																					
別府市																					
中津市																					
日田市																					
佐伯市																					
臼杵市																					
津久見市																					
竹田市																					
豊後高田市																					
杵築市																					
宇佐市																					
豊後大野市																					
由布市																					
国東市																					
市計																					
(a)																					
町																					
姫島村																					
日出町																					
九重町																					
玖珠町																					
町村計																					
(b)																					
県内合計																					
(a)+(b)																					
県外																					
(c)																					
総合計																					
(a)+(b)+(c)																					

(注)1 入院患者については、6月30日現在の精神科通院治療を受けた者の「実人数」を記載すること。
 2 通院患者については、6月中旬に精神科通院治療を受けた者の「実人数」を記載すること。
 なお、「実人数」とは、精神科外来レセプト相当数とし、6月中に同一人物が複数回受診した場合も「1」とカウントすること。

精神保健月報記入要領

1. 提出機関及び提出様式

1) 精神科病院

毎月提出（様式1, 2） 6月のみ様式1, 2に加え様式3, 4を提出

2) 精神科診療所及び一般病院の精神科外来

毎年6月分を提出（様式1, 4）

2. 様式について

1) 様式1（入院・通院・仮退院状況）

①入院医療区分について

- ・毎月末の状況について精神科入院者の入院形態別、医療費区分別で計上する。
- ・本月入院については、本月に入院した数を入院時の入院形態別及び医療費区分別で計上する。
- ・本月退院については、本月に退院した数を退院時の形態別で計上する。
- ・前月入院の合計数に入院数の合計を加え、退院数の合計を減じた数が、本月末の在院数の合計と同数となること。

②通院医療負担区分について

- ・通院区分については、前月及び本月の1ヶ月間の精神科通院者の実数を医療保険別に計上する。

③法29条措置患者の仮退院状況は、前月末時点の仮退院の数を計上、本月仮退院は本月中に仮退院した数、本月帰院は、本月中に帰院した数、本月末仮退院は本月末時点で仮退院数を計上する。

④ベッド数は精神科病床数を記入し、ベッド利用率は本月末在院患者数で、ベッド数を除し、100を乗した数を記入する。

2) 様式2 病院職員状況

- ・各月末の精神科病院に従事する職員の状況を計上する。
- ・委託職員については、職員数に含めない。
- ・非常勤職員は職員数として計上する。

3) 様式3 入院患者の年齢別、性別、在院期間状況

- ・6月末入院者の状況を計上する。

4) 様式4 市町村別、性別入院、通院状況

- ・毎年6月末の入院者、6月一ヶ月間の通院者（実数）について性別、市町村別に計上する。
- ・入院及び通院について、様式1の6月末の入院者及び6月一ヶ月間の通院者（実数）の性別、合計数と同数とすること。

精神保健(病院)月報

様式 1 入院・通院・仮退院者状況 (平成 年 月分)

病院名:

担当者:

入院医療負担区分		前月末在院			本月入院		本月退院		本月末在院		
		男	女	計	男	女	男	女	男	女	計
法29条の措置入院(緊急措置入院含む)											
法33条 医療保護入院	特別措置法による入院										
	生活保護法による入院										
	各種保険による入院										
	私費、その他による入院										
法22条の2 任意入院	特別措置法による入院										
	生活保護法による入院										
	各種保険による入院										
	私費、その他による入院										
法33条の4 応急入院	特別措置法による入院										
	生活保護法による入院										
	各種保険による入院										
	私費、その他による入院										
医療観察法による鑑定入院											
医療観察法による入院											
計											
通院医療負担区分		前月通院者実数			本月通院者実数			備 考			
		男	女	計	男	女	計				
自立支援医療による公費通院								(1) ベッド数 _____ 床 (2) ベッド利用率 _____ %			
自立 以外の 場合 医療	生活保護法による通院										
	各種保険による通院										
	自費、その他による通院										
計											
法29条による措置患者の 仮退院状況		前月末仮退院			本月仮退院		本月帰院		本月末仮退院		

精神保健（病院）月報
様式2

病院職員状況（平成 年 月分）

病院名：

担当者：

職員別		今月末人員
医師	常勤	(内精神保健指定医 人)
	非常勤	
看護	看護師	
	准看護師	
薬剤師		
心理士		
精神保健福祉士		
ケースワーカー		
X線技師		
臨床検査技師		
作業療法士		
栄養士		
事務員		
調理師		
看護助手		
その他		
計		0

入院患者の年令別・性別・在院期間状況(平成 年6月分)

様式3

年数 性別	3ヶ月 未満		3ヶ月以上 6ヶ月未満		6ヶ月以上 1年未満		1年以上 2年未満		2年以上 3年未満		3年以上 4年未満		4年以上 5年未満		5年以上 6年未満		6年 以上		合 計			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
0～9																						
10～19																						
20～29																						
30～39																						
40～49																						
50～59																						
60～69																						
70～79																						
80歳以上																						
合計																						

※月末の状況を記載

精神保健(病院)月報
様式4

市町村別入院、通院状況(平成 年6月分)

病院・診療所名:

担当者名:

連絡先:

市町村名	入 院			通 院			市町村名	入 院			通 院		
	男	女	計	男	女	計		男	女	計	男	女	計
県外							南部福祉保健所						
全沖縄							西原町						
							豊見城市						
名護福祉保健所							糸満市						
国頭村							八重瀬町						
大宜味村							南城市						
東村							与那原町						
今帰仁村							南風原町						
名護市													
本部町													
伊江村													
伊平屋村													
伊是名村													
							宮古福祉保健所						
中部福祉保健所							宮古島市						
恩納村							多良間村						
宜野座村													
金武町													
うるま市													
沖縄市													
読谷村													
嘉手納町							八重山福祉保健所						
北谷町							石垣市						
北中城村							竹富町						
中城村							与那国町						
宜野湾市													
中央保健所													
那覇市													
浦添市													
久米島町													
渡嘉敷村													
座間味村													
粟国村													
渡名喜村													
南大東村													
北大東村													

※入院については6月末時点の入院者数、通院については6月一ヶ月間の通院者実数を性別、市町村別に計上する。

※月の途中で住所が異動した場合は通院者については月末の状況を記載する。

※様式1(6月分)の「本月末在院」及び「本月通院者実数」の合計数と同数となる。

静岡市・精神科病院入院患者の動向調査 記入要領

1 様式（提出物）

- (1) 平成18年6月入院患者調査票（エクセルファイル）
- (2) 調査上の困難点等（医療機関からの意見；エクセルファイル）

2 記入方法

項目	説明
対象者選定の基準日	平成18年6月30日現在入院患者
設問回答の基準日	設問1～10(疾患名) 平成18年6月30日時点
	設問11～24(プログラム) 記入日(入院中の方対象)時点
	設問25(転帰)～ 退院時(退院者対象)
記入項目	該当する数字（半角）を調査表に記入(入力)する。 ※計算式、書式は変更しないようにお願いします。 ※別紙の記入例を参照してください。

※対象者(基準日)及び各項目選択肢の区分は、基本的には精神保健福祉資料(平成17年度：10月末依頼→11月末締め切り)に準拠しています。

※表中に「※」があるものは、用語の説明があります。

※調査用に、「個別(フェイス)シート」と「聞き取りアンケート」がついています。必要に応じて御活用ください。

※調査様式には、パスワード「kanja」を設定しています。

3 提出期限

期限1	設問1～24	入院者の状況	平成18年10月27日(金)
期限2	設問25～	退院者の状況 退院率・残存率	平成18年11月24日(金)

4 提出先・提出方法

静岡市保健衛生総務課（担当：寺田／054-221-1554）

※調査実施後、担当まで御連絡ください。データコピー用の記憶媒体を持参のうえ各病院へお伺いします。

5 その他

- (1) 今回の調査結果は、障害者自立支援法に基づく「市町障害福祉計画」の策定のために活用します。
- (2) 調査票は静岡県精神保健福祉室と協議のうえ作成しており、静岡県実施予定「退院促進支援事業」の参考資料とするため、提出いただいたものは静岡県精神保健福祉室へも送付いたします。あらかじめ御承知おきください。
※静岡市以外の精神科病院に対しては、同様の調査が静岡県精神保健福祉室から依頼済み。
- (3) 事業・計画の推進状況を確認するため、来年度以降も平成24年度まで毎年実施する予定です（内容については、関係者の意見等により、変更される場合があります）。

調査票記入要領 (案)

I 6月30日(基準日)の状況

基準日(不明な場合は調査日)現在の状況について記入してください。

1 整理番号

- (1) 直近の入院期間の長い方(入院年月日)順に並び替えて付番してください。
- (2) 患者の氏名は報告していただく必要はありませんが、来年度以降も調査を実施し、基準日までに退院された患者の報告をしていただきますので、名前と整理番号の関係が分かるようにしておいてください。

2 性別

1	男性
2	女性

3 生年月日

西暦で記入してください。年齢と年齢階層が自動的に挿入されます。

例) 1970/6/3 1980/12/31

4 年齢

基準日現在の満年齢が挿入されます。

年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢	年号(西暦)	年齢
明治 35(1902)	104	大正 11(1922)	84	昭和 17(1942)	64	昭和 37(1962)	44	昭和 57(1982)	24
36(1903)	103	12(1923)	83	18(1943)	63	38(1963)	43	58(1983)	23
37(1904)	102	13(1924)	82	19(1944)	62	39(1964)	42	59(1984)	22
38(1905)	101	14(1925)	81	20(1945)	61	40(1965)	41	60(1985)	21
39(1906)	100	昭和 1(1926)	80	21(1946)	60	41(1966)	40	61(1986)	20
40(1907)	99	2(1927)	79	22(1947)	59	42(1967)	39	62(1987)	19
41(1908)	98	3(1928)	78	23(1948)	58	43(1968)	38	63(1988)	18
42(1909)	97	4(1929)	77	24(1949)	57	44(1969)	37	平成 1(1989)	17
43(1910)	96	5(1930)	76	25(1950)	56	45(1970)	36	2(1990)	16
44(1911)	95	6(1931)	75	26(1951)	55	46(1971)	35	3(1991)	15
大正 1(1912)	94	7(1932)	74	27(1952)	54	47(1972)	34	4(1992)	14
2(1913)	93	8(1933)	73	28(1953)	53	48(1973)	33	5(1993)	13
3(1914)	92	9(1934)	72	29(1954)	52	49(1974)	32	6(1994)	12
4(1915)	91	10(1935)	71	30(1955)	51	50(1975)	31	7(1995)	11
5(1916)	90	11(1936)	70	31(1956)	50	51(1976)	30	8(1996)	10
6(1917)	89	12(1937)	69	32(1957)	49	52(1977)	29	9(1997)	9
7(1918)	88	13(1938)	68	33(1958)	48	53(1978)	28	10(1998)	8
8(1919)	87	14(1939)	67	34(1959)	47	54(1979)	27	11(1999)	7
9(1920)	86	15(1940)	66	35(1960)	46	55(1980)	26	12(2000)	6
10(1921)	85	16(1941)	65	36(1961)	45	56(1981)	25	13(2001)	5

5 年齢階層

基準日現在の年齢階層が挿入されます。

1	0歳～19歳
2	20歳～39歳
3	40歳～64歳
4	65歳～

6 入院形態

基準日現在の入院形態について記入してください。

1	措置入院
2	医療保護入院
3	任意入院
99	その他入院

7 入院年月日

西暦で記入してください。直近入院期間が自動的に挿入されます。

例) 1970/6/3 1980/12/31

8 通算入院期間（直近入院期間）

通算の入院期間を記入してください。

	入院期間	(直近入院年月日)
1	1カ月未満	平成18.6.2～平成18.6.30
2	1カ月以上3カ月未満	平成18.4.2～平成18.6.1
3	3カ月以上6カ月未満	平成18.1.2～平成18.4.1
4	6カ月以上1年未満	平成17.7.2～平成18.1.1
5	1年以上5年未満	平成13.7.2～平成17.7.1
6	5年以上10年未満	平成8.7.2～平成13.7.1
7	10年以上20年未満	昭和61.7.2～平成8.7.1
8	20年以上	～昭和61.7.1

9 保険(入院費用負担)区分

今回の入院にかかる費用の負担区分について記入してください。

1	公費負担（措置入院等）
2	生活保護
3	医療保険（国民健康保険・社会保険など）
99	その他